

いいの社協だより

2025年11月号

第205号

発行責任者 福島市社会福祉協議会飯野協議会会長 長谷川 伸

発行所

福島市社会福祉協議会
飯野協議会

福島市飯野町字後川10-2
TEL.024-562-2111

災害時に支援が必要な方がいます

飯野町・青木・大久保・明治の4地区それぞれにおいて、町内会長・民生児童委員・消防団等が集まり、避難行動要支援者支援事業の地区説明会を開催しました。



避難行動要支援者を支援する方の設定率について、福島市内において飯野地区は最も高い設定率（83.6%、令和7年6月30日現在）となっております。

飯野地区の皆様は、日頃から地域住民のつながりを大切にしており、支援者の設定率が最も高いことは、それがあらわれた結果です。

一人世帯の方など、災害時に避難するのに支援が必要な方においては、こちらの二次元コードから登録をお願いします。

なお、個人情報（氏名・住所・生年月日・障がいの有無など）が、関係機関（町内会・民生児童委員・消防団・地域包括支援センター等）において、共有されることに同意した方のみ登録することができますので、あらかじめご了承ください。



（避難行動要支援者支援事業 飯野地区担当）

福島市の新たなシンボルを視察しました

福祉推進部会

令和7年9月29日（月）福島市社会福祉協議会飯野協議会の役員研修会を開催しました。今年度は、本市の新たなシンボルである「市民センター」を視察しました。

1階は開放的なフロアとなっており、各種イベント等で使用可能な大ホールや飲食可能なカフェがありました。

2階は勉強等が可能なスペース、そしてキッズルームがあり、こどもたちが元気に遊ぶことができます。

3階は会議室、そして4・5階は市政に関する意思決定の場である市議会議場となっており、議場も視察しました。議員側のスペースは、段差が無いフラットな議場で、机も可動式となっており、全国的にも比較的珍しい仕様となっております。

本研修により役員の資質向上を図り、福祉活動の推進を今後も図っていきます。



（福島市社会福祉協議会 飯野協議会 事務局）

◆◆ 11月の会食サービスは11月19日（水）に開催予定です。◆◆

福島市社会福祉協議会飯野協議会へのご寄付ありがとうございました。

◎遺志寄付

阿部 幹生 様 (故)	阿部 利雄 様	飯野町	30,000円
阿部 澄子 様 (故)	阿部 好克 様	飯野町大久保	30,000円
丹治 晴美 様 (故)	寺島 トモ子様	飯野町	30,000円

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金（御礼）

共同募金は、昭和22年に市民主体の民間運動として始まり、今年で79回目を迎えます。社会福祉法で定められた「地域福祉の推進」を目的に、毎年1回、全国一斉に募金活動を行います。

10月5日(日)ヨークベニマル太平寺店にて、各方部の民生児童委員（飯野より2名）による「街頭募金」運動が実施され、ご来店の方々からあたたかい募金をいただきました。

今年度も飯野地区の皆様より、あたたかい募金をいただき、心より感謝申し上げます。



（福島市社会福祉協議会 飯野協議会 事務局）

子ども食堂 ai 柏の木

「子ども食堂 a i 柏の木」は、令和3年2月より、花立自然公園において、毎月第4日曜日に開催している子ども食堂です。

明治地区の皆様におかれましては、野菜等の寄付及び当日のお手伝いで、多大なるご支援をいただいております。



花立自然公園は、白山遺跡・和台遺跡・堰堤公園を一望できる高台にあり、公園内に花を植え、迷路を作り、散策道も整備中です。

令和5年には、縄文竪穴住居を復元して、「ぽーぽい ナンクル」と命名し、縄文時代の暮らしを体験できるようにしました。

「NPO法人子どもたちのいのちを守る会・ふくしま」との共催で、春・夏・秋の年3回、縁日や演奏会等を行うお祭りも開催しています。

子どもから大人まで楽しめる子ども食堂ですので、飯野地区の皆様ぜひお越しいただきたいと思っております。

（子ども食堂 a i 柏の木 事務局 佐藤 幸子）

飯野の夏 ～ 豊年盆踊り ～

8月15日（金）福島市飯野イベント広場にて、豊年盆踊りを開催し、たくさんのお子どもたち、町民の皆様に参加いただきました。

今年は、お盆休みで帰省されている方々にも参加いただき、多くの方々が飯野の夏を楽しんでいられました。

また、お囃子を「UFOの里芸能愛好会」の皆様にお願したところ、新たなメンバーが加わっており、伝統芸能が継承されていることを感じました。

飯野町若連としても「豊年盆踊り」「堰堤小唄」を、若い世代に継承して、これからも伝統芸能を大切にしていきたいと思います。

（飯野町若連 総裁 林 淳）

